



こんにちは ひぐち英明です

331号 2018年4月22日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
左京生活相談所 Tel781-6622

ホームページ：

市民生活に害をもたらす 安倍政権は退陣せよ



一部の者だけを優遇し、政治を私物化する安倍政権に対して、国民・市民の中での批判が大きくなっています。

市民の生活に害をもたらす安倍政権は一刻も早く退陣せよ、と市議会議員団で宣伝。



左京報告集会であいさつする福山和人さん

憲法を守る運動や原発に反対する運動をはじめ、地域要求を実現する運動が粘り強く続けられてきた成果です。

4月9日投票で行われた知事選挙は、福山和人さんが、得票率で44%を獲得したものの、当選することはいきませんでした。マスコミ各紙も「善戦」との評価で報道しています。

特に左京区では、相手に約2600票の差をつけて勝利。これは、憲法を守る運動や原発に反対する運動をはじめ、地域要求を実現する運動が粘り強く続けられてきた成果です。

知事選・市民の共同の取り組みの成果 福山和人さんが44%まで迫る

知事選得票		
	福山和人	西脇隆俊
全体：	317,617 (44.1%)	402,672 (55.9%)
左京区：	24,030 (52.8%)	21,449 (47.2%)

京都市・2018年度予算議会終わる 市民への負担をさらに押し付ける予算

2月～3月に京都市の予算議会が行われました。くらしや福祉を削る一方で、公共工事は膨らむという、国言いなりの予算が賛成多数で可決されました。私は市長に対する質疑で以下の4点を中心に厳しく追及しました。

■「国も財政が大変」と「まかしとしまかし」

京都市は「厳しい財政状況」とよく言いますが、一番の原因は国が社会保障や地方への予算を削っているからです。国は史上空前の儲けをあげている大企業に大減税をしているために税収が確保できないのですから、私は「大企業優遇を改めるよう国に対して求めよ」と追及。ところが市長は「国も財政が厳しい」と言うのみ。

くらしへの負担を押し付ける。国が社会保障予算を大きく削る中、それに輪をかけて京都市独自の社会保障負担分を削っています。そのために、京都市営の墓園の使用料、保育料などの値上げ提案が行われたことを批判しました。

■職員削減で過労死ラインを超える残業

働く職員が167人もいるという異常事態になっていることについても徹底的に批判。必要な人員の確保を求めました。

■大型開発だけは聖域扱い

一方で、大型公共工事は、北陸新幹線延伸、リニア、堀川通・国道1号線・9号線のバイパストンネル計画など目白押しです。「くらしの予算を削って、大型事業だけは推進」という政治を転換するよう強く求めました。

写真トピックス



→安倍政権退陣 求める左京みんなのデモ

改憲ノー 3000万署名宣伝

ひぐち英明 com. ホッと・コム

長女の高校吹奏楽部最後の定期演奏会が3月にありました。私は前半しか聴くことができませんでした。私も心細い演奏会でした。

終わった後で、「北稜(高校)でよかった」と長女が言っていたと妻から聞きました。3年間の部活動では、いろいろあったようですが、最後に「よかった」と思えたのは、いい経験ができた証だそう感じます。

定期演奏会にはコンサートホールで行われたのですが、会場いっぱいの人で、特に、地元である洛北地域の方々がたくさん来ている、という雰囲気でした。今は高校の通学圏が取り払われてしまっていますが、北稜高校は「地元」の高校というふうな状況が、まだ比較的残されており、それがいい雰囲気をつくっている、と感じました。

地元の高校に進学するという「地域制」を、京都では長年採用してきました。有名大学への進学率という観点からは、マイナスの評価を受けることが多いのが「地域制」です。しかし、いろいろな状況の生徒たちが、共に学ぶことができる環境というのは、多様な生き方や考え方を学びあえるということであり、人としての成長という点では、より優れた教育環境であると感じます。京都の高校から「地域制」がなくなってしまうことが、本当に悔やまれてなりません。